

竹 中 大 工 道 具 館

NEWS

未 来 へ つ な ぐ 、 匠 の 技 と 心

Takenaka Carpentry Tools Museum News Letter

特 別 号

2013 | Special issue



リニューアル後の竹中大工道具館（パース）：緑に囲まれた庭園からエントランスを臨む

2014年10月、移転・リニューアルオープンします！

1984年に大工道具をテーマとした博物館として神戸市中山手に開館して以来約30年。来館者数延25万人。常設展をはじめ企画展、講演会や出張授業などを通して、多くの方々に親しまれ、またその支えを受けながらここまで歩んできました。このたび当館は、設備の老朽化と展示・収蔵スペースの不足を解消するため、2014年10月に新神戸駅付近の竹中工務店ゆかりの地に移転し、新たな一歩を踏み出すことにいたしました。現在、新たな建物の建設ならびに常設展示のリニューアルを鋭意進めています。新しく生まれ変わる竹中大工道具館に、どうぞご期待下さい。

CONTENTS

Architecture	建築
Exhibition	展示
Experience Program	体験プログラム
Relocation	移転について



〔上〕館内から見る中庭の風景：六甲山の麓に広がる豊かな自然が目に飛び込んできます。〔下〕鳥瞰パース：存在感を抑えた和風屋根が緑の中に点在する風景をつくり出します。

建築概要

規模構造	地下2階、地上1階／鉄筋コンクリート造・鉄骨造
建築面積	479㎡
延床面積	1,852㎡
施設内訳	地上1階 出入口、多目的ホール、ショップ、事務室 他 地下1階 展示室、倉庫 他 地下2階 展示室、木工室、ライブラリー 他
建設設計施工	株式会社竹中工務店
展示設計	株式会社乃村工藝社

人と自然をつなぎます

新館の建設地は、神戸・六甲山の麓に残る“都市の中の森”といえる環境にあります。建物は地上1階、地下2階として存在感を抑え、樹木の伐採を最低限に留める配置とし、既存の茶室とあわせて和風の屋根が緑の中に点在する風景をつくりだしています。敷地内外からは、背後に聳^{そび}える六甲山の眺めをはじめとした、緑豊かな自然を楽しむことができます。ご来館の方々の憩いの場となるような、落ち着いた空間を創出します。

伝統と革新をつなぎます

ものづくりの技と心をより身近に感じていただけるよう、建物の内装には、大工や木工職人、左官、瓦師などの職人の技を取り入れています。また同時に、最先端の建築技術へも積極的にチャレンジし、限界の細さを追及した鉄骨構造や、木造で構築する大空間ホールなど、過去から現在に至る技の数々を現地で実際に感じられる空間となっています。

Exhibition 「五感に響く」展示へ



「より深く、よりわかりやすく」

手仕事にふれる機会が減った現代では、道具をどのように使うのかという理解が難しくなっています。そこで新しい展示では道具を使用する状況をコンパクトに再現。使い方が直感的に理解できるようになります。また解説を補足する映像・音声システムや、実際に触って確かめることができるハンズオン展示も大幅に追加。目だけではなく、耳や手触りなど五感を使って身近に理解を深めることができますようになります。

「建築」と「人」の展示を追加します

道具を使ってどのようなものを生み出してきたのか、そこには工匠たちのどのような技と知恵が込められているのか、という疑問にも応えるべく、「実物大の建築」と「工匠の技と心」についての展示を新たに追加します。中でも目玉となるのは高さ7mを超える唐招提寺金堂組物の実物大模型。先人の技に思いをはせるとともに、木組みの精緻さを間近にご覧いただけます。そのほかにも茶室構造模型や鍛冶工房の再現など特別な展示品を多数用意します。



〔上〕 B1F展示室: 左手吹き抜けに見えるのは目玉となる唐招提寺金堂組物の実物大模型。右手は工匠の技と心を伝える「棟梁」ゾーンの様子。〔下〕 1F多目的ホール: 企画展や講演会等のイベントを開催。現代の職人技でつくる木造の大天井がやわらかな空間を演出します。

ミュージアムショップを新設します。

「木・道具に親しむ」をコンセプトに、木の温もりや大工道具を身近に感じられるような、当館ならではのグッズを展開します。当館発行の刊行物も従来どおり販売します。

Workshop 体験型イベントを拡充します

子どもから大人まで楽しめる 工作室を新設します

鉋削り体験や出張授業など、「宮大工がいる博物館」という特色を活かした臨場感あるプログラムが好評を博しています。そこで新館内には最大40名が利用できる工作室を新設し、初めて大工道具に触れる子どもたちから手仕事に興味のある大人まで、幅広い年齢層の方々が楽しめるプログラムを提供していきます。またクラス単位での利用も可能になり、学校団体の受入れにも力を入れていきます。



B2F 木工室:木工教室等、様々な体験プログラムを実施します。

大人から子どもまで好評な「鉋削り体験」

Relocation 移転について

竹中工務店ゆかりの地へ移転します

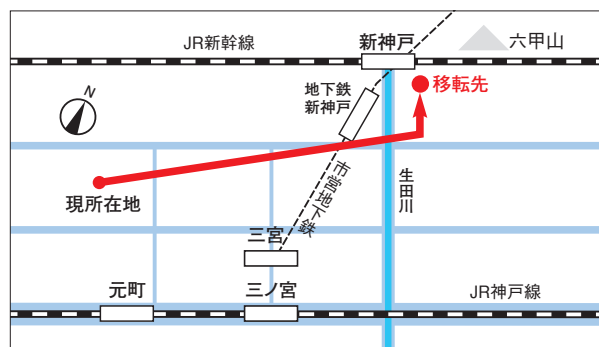
新館の建設地は大正年間に(株)竹中工務店の本店事務所が構えられた地です。同社は明治32年(1899)、現在の竹中大工道具館の所在地である神戸市中山手に事務所を開設。その後、大正3年(1914)に当地に移転して、約10年間、事業拡大の礎を築きました。今回、このゆかりの地に、移転・リニューアルの運びとなりました。

移転先住所

〒651-0056
兵庫県神戸市中央区
熊内町7-5-1

主なアクセス

山陽新幹線 新神戸駅 中央改札口より 徒歩約3分
市営地下鉄 新神戸駅 北改札口より 徒歩約5分
神戸北野坂より 徒歩約20分



現施設 閉館のお知らせ

移転・リニューアルの準備にともない、2014年5月18日より現在の施設は閉館させていただきます。

移転・リニューアルに関する お問い合わせ先

〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-18-25
TEL 078-242-0216 FAX 078-241-4713



※CGは計画案です。出来上がりとは異なる場合がございます。

※本内容は変更になる場合があります。最新情報は、
ウェブサイトにてご確認ください。

本誌の無断転写・転載・複製は禁じます。©2013 Takenaka Carpentry Tools Museum

竹中大工道具館NEWS特別号

2013年10月1日発行

編集・発行:公益財団法人竹中大工道具館

印刷:神戸新聞総合印刷

TAKENAKA
CARPENTRY
TOOLS
MUSEUM

